

## 3回目の優勝！おめでとう！

●浦高が全国高校生クイズ選手権大会で優勝！



今日9月12日(土)と明日13日は、「浦高祭」(左：ポスター)です。昨年は麗和会館にて「浦高百年の森展示会」が同時開催されたため、若い熱気を感じながら浦高の門をくぐったのですが、今年は前夜祭から自宅で応援しています。

「浦高祭」のプログラムには、12日に中夜祭、13日にフォークダンスがあり、11日の前夜祭はないのですが、日本テレビが11日の夜に放映してくれた「全国高校生クイズ選手権大会」で浦高クイズ研究会の木田くんと野村くん(ともに3年)の全国優勝が前夜祭ではなかったかと思えます[写真は“しごとの歩き方”より転用]。優勝した2人の紹介がクイズ研究会HPに…。



### ★ダーキー

1. 自己紹介：やっぱり作問が好き。外交関係担当。一応副会長。
2. 戦績：第33・35回高校生クイズ全国大会出場
3. 得意ジャンル：この二年で突出したジャンルは無くなりました。弱体化

### ★ノムさん

1. 岡山を愛する川口市民。日々会長としての激務(毎日クイ研に来ること)を果たしている。
2. 第1回SQA新人王、第33回高校生クイズ埼玉県優勝→全国大会出場、2013筑附例会決勝進出、会長決定戦優勝、第4・5回SQA例会優勝、第35回高校生クイズ埼玉県優勝→全国大会出場
3. 漢字、地理、天文、岡山問

\* \*

…と3年間の汗と涙の結晶が成果となって実ったといえるのではないのでしょうか。

私は記憶力が弱くクイズ等は苦手なほうなので、こうした番組を見ることも少ないのですが、先日の杉山剛士校長先生の「私は結果を知らされていないのですが、地区大会は突破して全国大会に参加しています」という笑顔と話し方が気に入り番組を真剣に見て、ついに決勝のどんでん返して優勝でした。

出場した高校は、全国で59校あったそうで、決勝に残った4校のうち、地区大会からの勝ち抜けは浦高とラサール高校、準優勝の開成高校はナゾトキ予選枠、青山学院高等部は21世紀枠とのことでした。

過去の優勝校では、30回～32回の3年連続優勝を果たした開成高校の3回がトップ、浦高は25・26回と連続優勝を果たしましたが、2回で今回の優勝で開成高校と並んで3回目となりました。

前述の“しごとの歩き方”に次のような記事が…。

\* \*

### ◆浦和高校が高校生クイズで優勝！ 偏差値や東大合格者数は？

浦和高校は埼玉県では偏差値トップの公立高校です。毎年、東大にも30人前後が入学しています。

浦和高校は男子校です。埼玉県の公立高校は男子校・女子校と分かれている高校が多いようです。男子校には変な文化をもつ高校も少なくないですが、浦和高校ももれずにおかしな文化を持っているようです。一般的に偏差値の高い学校というと、大学樹面を目ざして、ひたすら勉強するというイメージが強くなってしまいがちですが、浦和高校は真逆のようです。まず体育祭やスポーツ大会の力の入れ具合は半端なものではありません。



体育祭ではこのように、裸で騎馬戦で全校生徒で戦い合うのが有名なようです。ほぼ毎月スポーツ大会やマラソン大会があり、高校生のあいだに心身ともに鍛えるということを理念に持っています。特に大事な大会である「強歩大会」は、浦和にある学校を出発して、茨城県にある古河市まで約50kmを走る「古河マラソン」として有名です。さらに新入生歓迎マラソンというものまであり、とにかく体を酷使することが求められています。さらに臨海学校では海パン一枚で、約300人近い高校生男子が集まると、なんとというか圧巻の光景ですね。大学受験のために…と思って進学をした学生はかなりショックが強いのではないでしょうか。



勉強だけでなく部活動もかなりの力を入れており、ラグビー部や水泳部、陸上部などは全国にも出場するほどの強豪校です。いったいどのように時間を作って、受験と部活の両立を図っているのか不思議でならないですが、文武両道の理念があります。

「尚文昌武(しょうぶんしょうぶ)」と読むようです。頭だけでも体だけでもなく、両方を鍛えてこそ男ということなのではないでしょうか！〔一部を抜粋しました〕

\* \*

さまざまな形で母校の活躍が取り上げられることに感謝！ 私の数少ない思い出の一つが「浦高祭」。現役生徒にとっても良き思い出に残ることを…！